

平成 29 年度 富山市高齢者総合福祉プラン地域懇談会 議事録
(8 月 23 日 (水) 岩瀬カナル会館分)

1 日 時 平成 29 年 8 月 23 日 (水) 午後 2 時～午後 3 時 30 分

2 場 所 富山市岩瀬カナル会館 2 階 ホール

3 参加者

【市民等】 39 名

【事務局】 山口福祉保健部次長、宮崎保健所保健予防課長、石井保健所地域福祉課長、長介護保険課長、清水長寿福祉課長

4 内 容

- (1) 次長あいさつ
- (2) 出席者紹介
- (3) 議 事

5 質疑応答

市民等 資料もなく、口頭の説明のみでは理解しかねる。会議を開いたという事実が必要なのか。我々は地域に戻って今回の会合を伝えることはできない。

事務局 ご指摘はごもっともである。しかしながら、今後、国から示されるスケジュールもあることから、今回、市としては、計画の初期段階のものを市民の皆様に説明し、この機会にいただいたご意見と国の動向を計画に反映していきたいと考えているものである。

資料に関しては、内部で議論したが、まだ内容が粗い段階のもので、今後中身が変わっていくものであることから、誤解を招く可能性を考慮し、資料を配布しなかった。

今回は市民の皆様からご意見を頂戴し、今後の計画策定に活かしていきたいとの趣旨で開催したものであることをご理解いただきたい。

市民等 私は地区センターからデータをもらって自分の地域のことを分析しているので、計画の中身は変わっても良いので、ひとり暮らし高齢者の推計など、決まっているデータだけでも頂戴できたら良かった。

事務局 データに関しては、ご指摘のとおりと感じている。今回は先ほど申し上げた趣旨であるため、スライドを見ていただくだけにしたが、例えば、市では出前講座を様々な分野に関して実施しており。ご要望があれば、直接地域に出向き、ご説

明させていただくこと可能である。

市民等

出前講座も良いが、富山市の各課の取組みをウェブ上で報告してもらえれば良い。また、プランについても、今後変更があることを前提に、原案でも良いので投稿していただけると良い。

事務局

データの公表については、市のホームページが中止になると思うが、できる限りご提示できるようにしていきたい。

なお、先ほどご説明した「高齢者保健福祉実態調査」については、すでに市のホームページに掲載しているので、そちらをご覧ください。

また、先ほど説明した推計のデータは「将来人口推計」に基づいて、次の計画の目標年次になる平成 32 年、その次の平成 37 年に向かってどういった推計を見込んでいるかをご紹介させていただいたところである。

将来人口推計については、国勢調査から推計していくので、在宅にいるか、施設にいるかという区別はないものである。

そのため、先ほどのお話にあった、ひとり暮らし高齢者の数が何人になるかといった推計については、国勢調査による推計で、平成 28 年度で 1 万人程度と説明させていただいた。

一方、市では別に、ひとり暮らし高齢者台帳というものを作っている。この台帳には施設入所の方は入っておらず、在宅の方でひとり暮らしをしている方はどれだけいるのかという毎年の調査に基づき把握しているものである。データを公表していく際には、そういったデータもご提示していきたいと思う。

市民等

コンパクトなまちづくりを市長は進めているが、市内電車のすれ違いが無いために、買い物にまちに出ても、帰りはぐるっと回って帰らなければならないところがある。また、南富山行きの電車が 3 つも 4 つも連なっているという状況を見かけることがある。非常に無駄に感じる。

また、岩瀬地域でいうとライトレールをもう少し延長できないかと思う。例えば、富山東高校からアルペンスタジアムまで通っていれば、野球を見に行くときにも車を使わずに済む。また、そこから、新庄地域に行き、清水町地域を通過して、ぐるっと回ってくるというのはどうか。

私が市長であれば、中コンパクトなまちづくりも良いと思う。富山市の中でそのような提案は無いのか。

民生委員のある会合で、団体で動く場合に、観光バスを使うと 2 台で 5 万円程度経費が掛かってしまうという話も聞く。私の豊田地域ではライトレールと自家用車数台を使えば対応可能である。こうすればお金を使わなくても良いという話はあるが、要するに、まちなか、まちなかと言われても、私たちにはあまり関係がない。もう少しエリアを広げて考えてもらいたい。

例えば、岩瀬は人口が減っているが東富山は増えている。東富山地域の人口に

事務局

ついて、分析してみると高齢化率をとっても、率は全体平均より低いですが、増えている率は、富山市全体より高い。いつか追い越すと思う。そういった分析の仕方次第で計画の方向も変わってくると思う。

コンパクトなまちづくりについて、ご指摘があったことは担当課に伝えたいと思う。ただ、富山市が現在目指しているのは、ライトレールと市内電車の南北一体化である。これが実現すれば、岩瀬地域の方も、そのまままちなかに来ていただくことができる。市としてはこれをまず実現したいと考えている。そのあとは、どのように展開していくかは、経費等のいろいろな問題もあることから、今こうするとは申し上げられないが、このようなご意見があったことは担当課に伝えたい。

森市長がコンパクトなまちづくりを打ち出し、歩いて暮らせるまちづくりが一步一步進んできている。これが健康寿命の延伸にも、あるいは環境未来都市の実現にもつながってきていると考えている。

また、後段でおっしゃられた分析に関しては、まだ発表できる段階ではないが、もう少し細かくできるかどうかを含め、取り組みをはじめたところである。お見せできるデータができた暁には、皆さまにご提示していきたいと思う。

(以 上)